

農大だより

入学式

4月10日(水)

4月10日(水)に令和6年度入学式が挙行されました。今年度は、園芸学科野菜コース17名、花きコース3名、果樹コース5名、畜産学科14名、合計で39名の学生が入学しました。

式では、溝口 聖校長から「本校は、実践教育を通じて、農業経営に必要な知識や技術はもとより、寮での共同生活をとおして自律性と協調性を養うことを重視している。皆さんは何事にも積極的にチャレンジし、自分自身の夢を実現するための力を身に付け、素晴らしい仲間と協力し励ましあいながら、充実した学校生活を送って欲しい。」との式辞がありました。

学生を代表して学生会長の前田善行さんから「本校で学んでいく過程で様々な人と出会い、楽しいこと、嬉しいこと、時には辛いことなどもあるかもしれませんが、しかし、仲間と共に協力することで乗り越えることができます。お互い切磋琢磨し成長して行きましょう。」と歓迎のことばがありました。新入生を代表して岩本清花さんが「長崎県の農業の発展に貢献できる人材となるために、何事にも積極的に取り組んでいきます。」と力強い誓いがありました。



桜満開のフラワーアレンジ (花きコース)



式辞を述べる溝口校長



歓迎の挨拶をする前田学生会長



入学の誓いをする岩本さん



令和6年度 新入生一同

ホームページにも最新情報満載!!
URL : <http://www.pref.nagasaki.jp/e-nourin/noudai/index.html>



読み取ると農大HPへリンクします!

1年生研修

4月18日(木)

新入生研修を本校体育館で実施しました。昨年度までは諫早青少年自然の家で宿泊研修を行っていましたが、本年度は本校での実施となり、午前中は諫早消防署の指導のもと集団訓練を行い、午後からは各種ゲームやレクレーションで交流を深めました。この研修でお互いが打ち解け、心を開ききっかけとなりました。互いに尊重し協力しながら行動することの大切さ、仲間を思いやることの大切さを学びとても有意義な研修となりました。



集団訓練の様子



各種ゲームで交流を深める

JA等就職説明会

5月20日(月)

5月20日(月)13時30分から農大主催の就職説明会が本校体育館で行われました。参加者は1年生全員と2年生のJA等就職希望者でした。参加された事業所は、JA長崎せいひ、JAながさき県央、JA島原雲仙、JAながさき西海、JAごとう、佐世保食肉センターの6団体でした。



熱心に耳を傾ける学生たち



事業内容の説明をするJA職員の方

参加した学生の感想

- ・今までJAは農業に関連することのみをしている組合だと思っていましたが、農業のほかにもお金に関する信用事業や保険に関する共済事業に取り組んでいることが分かりました。また県央のJAについては5つの地域にあったJAが合併して設立したということを知りました。
- ・今回JAについての説明会を聞いて、自分の将来の就職先について考える機会ができてよかったと思いました。内容もかなり興味深いことが多く、高校の時の企業説明会で聞いた内容と違って、先輩の話がありとても自分のためになりました。
- ・今日の説明会で1つの職業でも様々な仕事の分野に分けられており、担当ごとに作業も違うのだらうなと感じました。来年には、自分の就きたい職業を選択し決定しなければならないので、説明会を聞いて参考になったので良かったです。

発行日 令和6年7月3日 Vol. 1
発行者 長崎県立農業大学校
所在地 〒854-0062 諫早市小船越町3171
TEL 0957-26-1016 FAX 0957-25-3871
E-mail : noudai@pref.nagasaki.lg.jp

第1回オープンキャンパス

5月18日(土)

5月18日(土)第1回オープンキャンパスが実施されました。県内の高校より33名の生徒が集まり、遠くは五島市からの参加もありました。

まず本校の2年生から各コース・学科についての紹介があり、その後、各学科・コースに分かれて実習および体験が行われました。

最後に、飛雲寮に移動して、学生が生活している寮を見学し、食堂で昼食のカレーを食べて、すべての日程を終了しました。

オープンキャンパスに参加された生徒の感想は下記の通りです。



各学科・コースを紹介する学生



果樹コースの体験



花きコースの体験



野菜コースの体験



畜産学科の説明



寮の食堂で昼食

オープンキャンパスに参加した生徒の感想

- ・先輩方、先生方がとても関わりやすかったので、楽しく体験することができました。
- ・入試の説明を詳しく聞けたのが良かったです。また、校内の雰囲気などのような感じなのかも知れて良かったです。
- ・実際に色んな体験ができてとても楽しかったです。先輩方も優しく今後の進路選択に役に立つ体験でした。

学生会総会/ポスター投票

5月16日(木)

学生会総会が5月16日(木)に体育館で実施されました。令和5年度の事業および決算報告が各委員からされました。また、6年度の事業計画および予算案も承認されました。学生会の活動が今後、ますます活発になることを期待します。



総会の様子



挨拶をする前田会長



承認された学生会役員



説明をする谷渡生活委員

- 学生会役員
- 会長 前田善行
 - 副会長 本多佑成
 - 村上敦美
 - 山田夕季冬
 - 書記 坂本啓太
 - 会計 高井優希
 - 監事 森田 真
 - 生活委員 谷渡尚悟 田中耕太
 - 文化委員 田崎優士 大西加奈
 - 防火安全 館 秀彦 安永魁翔
 - 体育委員 辰田 峻 林田秀廣



- モデルは
- 2年野菜コース 町田伊聡さん
 - 2年花きコース 本多佑成さん
 - 2年果樹コース 野口悠太さん
 - 2年畜産学科 山川あいさん

総会后、7年度学生募集用ポスターを決める投票も行われました。3社からポスターデザインが提出され、学生及び職員が投票をしました。その後、学生募集資料検討委員会が行われ、デザイン、予算、投票結果などを総合的に判断し、右のデザインが採用されました。ポスターのモデルは各学科・コースから選出された学生が行い、6月中旬に完成しました。今後、農大のPRに大いに活躍してくれることでしょう。

第37回九州地区スポーツ交歓大会

5月17日(金)

5月17日(金)大野城総合公園(福岡県)を主会場として、スポーツ交歓大会が実施されました。参加校は福岡、佐賀、長崎、熊本、大分の5校で約430名の参加がありました。本校は学生及び職員で75名が参加し、4競技に出場しました。競技の結果、バスケットボール 優勝、軟式野球 準優勝、バドミントン個人 準優勝でした。



優勝したバスケットボール



準優勝の軟式野球



準優勝のバドミントン個人



健闘したテニス



試合の合間に昼食



閉会式後、全員で記念撮影

1年生農家等派遣研修

6月11日(火)~

6月11日(火)から1年生農家等派遣研修が7泊8日の日程で実施され39名の学生が参加しました。目的は「農家の生活を体験することで、農業への興味と理解を深め、学習目標設定の促進に資すること」です。5月22日に担当の古川主任技師より事前指導を受け、参加する全員の前で1人ずつ決意表明をしました。

11日の出発式では、溝口校長より激励の挨拶があった後に、代表の学生の音頭で「がんばろう！」コールをして目的地に向かいました。

今回の農家等派遣研修は、県北振興局管内へ11名、県央西海事務所管内3名、県央振興局管内11名、島原振興局管内14名でした。



事前指導をする古川主任



決意表明をする学生



出発式であいあつをする溝口校長



「がんばろう！」コールで意気込む



受入式で挨拶をする淵副校長



受入農家さんからの挨拶

農家派遣研修に参加した学生の感想

- ・家族との日常会話が少し足りなかったと感じた。ご飯の時などもっと会話すべきだったと思っている。
- ・反省点は作業等を行う時にどうすれば良いか分からなくなった事があったので、コミュニケーションをしっかりとることが大事だと感じた。良かった点は、頼まれた仕事を素早く丁寧に行えるように努力したことです。
- ・自らコミュニケーションを積極的に取れなかったため、理解を深めるためにもコミュニケーションを取れるようになりたい。
- ・従業員の人たちが優しく指導して頂いたため、とても助かりました。失敗しても次がんばろうと声をかけてくださったので、とても助かった。

卒論テーマ特集号～その1～

野菜コース



猪股 真弥
(西彼杵高卒)
西海市大瀬戸町

「小玉スイカの仕立て方の違いが品質・収量に及ぼす影響について」

「カメハメハ」「マダーボール2号」「FRマダーボール」の3品種を用い、立体栽培における仕立て本数や着果数の違いによって、収量や品質に違いがでるのかを調査します。



舘 秀彦
(諫早農業高卒)
諫早市高来町

「カボチャの不耕起栽培の検証」

前作のカボチャの畦やマルチをそのまま使用する不耕起栽培の検証を行いました。その際、「レコアップ」「果菜1号」「育苗じまん」の3種の基肥の違いも併せて検証しています。



辰田 峻
(小浜高卒)
雲仙市国見町

「地這いメロンの品種比較と4果どりと6果どりの比較」

「マルセイユ」「イエローキング」「ムーンライト」「プリンスPF」の4品種について、生育や収量の比較を調査しています。



田中 耕太
(諫早農業高卒)
雲仙市吾妻町

「ニンジンの太陽熱処理での雑草抑制効果」

播種前に白マルチ、黒マルチ、透明マルチを被覆した区と無被覆区を設定し、雑草の量や除草時間、収量等の違いを検証しました。



谷口 耕大
北松浦郡佐々町

「促成ミニトマト栽培におけるセル苗直接定植による省力化の検討」

セル苗を直接定植した株と鉢上げして2次育苗後定植した株を用いて、作業の省力化、および生育、収量に違いがでるか調査しました。



谷渡 尚悟
(諫早農業高卒)
諫早市高来町

「大玉トマトの黄化葉巻病抵抗性品種の比較」

黄化葉巻病抵抗性品種である「はれぞら」と「かれん」の品種比較を行い、それぞれどのような特徴があるかを調査しました。



中村 颯汰
(諫早農業高卒)
長崎市大浦町

「基肥の違いがタマネギ栽培に及ぼす影響」

基肥の違いがタマネギの生育や収量にどのような影響があるか検証しました。

花きコース



大西 加奈
(西彼杵農業高卒)
西彼杵郡時津町

「トルコギキョウの栽培における鶏ふん配合低コスト肥料の活用について」

農業生産においても環境への配慮が必要になっている昨今、生産コストの高騰も問題になっているので、鶏ふんを原料に使った低コスト肥料の活用について検討しています。



中野 瑛斗
(島原農業高卒)
南島原市有家町

「ファレノプシスの育苗における底面給水方法の検討」

ファレノプシスの生産では一鉢ずつ手灌水が行われており、自動かん水の方法が確立されていません。そこで今回は育苗段階における底面給水の方法について検討しています。

果樹コース



野口 悠太
(諫早農業高卒)
諫早市多良見町

「黒系ブドウの着色促進のためのアブシシン酸含有液剤および括約処理の効果」

黒系ブドウにおいて温暖化による高温での着色不良を軽減するプロジェクトに取り組んでいます。卒業後の職務に役立てられるように、講義や実習に取り組みたいと思います。



土井 翔太
(鹿町工業高卒)
佐世保市竹辺町

「日本ナシ「あきづき」「王秋」の早期摘果とカルシウム剤散布によるコルク状果肉障害低減技術の検討」

ナシ果実生産で品質低下につながるコルク状果肉障害を低減させる技術の検討に取り組み、高品質果実生産を行うプロジェクトに取り組んでいます。

畜産学科



山田 夕季冬
(西彼杵農業高卒)
西海市西海町

「養豚経営におけるワクチン等の薬剤の利用と収益の関係について」

薬剤をたくさん使用することにより、病気のリスクは減りますが、コストは増します。そのバランスが大事だと感じ、県下複数の養豚農場を調査し、より良い飼養管理方法を検討します。



高井 優希
(北松農業高卒)
諫早市宇都町

「サイレージ給与が離乳子牛の発育に及ぼす影響」

近年の飼料価格高騰により、コスト低減のため、自給飼料の活用が重要となっています。そこで、離乳子牛に給与する粗飼料の一部を農大で調製したラップサイレージで代替し、子牛の発育に及ぼす影響について調査しています。



長嶋 高平
(吉岐商業高卒)
吉岐市郷ノ浦町

「儲けるための経産牛肥育飼養管理の検討」

更に儲かる和牛繁殖経営を目指すために、実家でも経産牛肥育に取り組んでいきたいと考えています。そこで、餌の給与量や肥育日数などから儲かる経産牛肥育飼養管理方法を検討しています。



山川 あい
(諫早農業高卒)
諫早市高来町

「哺育期における代用乳、人工乳、粗飼料の給与量の検討」

昨年の先輩の卒論プロジェクトにおいて、農大マニュアルの代用乳の量を変更することにより、発育が改善されることがわかりました。私はさらに踏み込み、代用乳、人工乳と粗飼料の給与量まで検討したいと考えています。

～農大からのお知らせ～

農大では、7月13日(土)～14日(日)に農大カレッジを開催します。たくさんのご参加をお待ちしております。

詳細は、農大教務課まで!

☎ 0957-26-1016

今後の主な行事

- 7/8～12 2年生国内研修旅行(北海道)
- 7/13～14 農大カレッジ
- 7/25 1年生諫早川まつりボランティア活動
- 7/30～8/1 前期試験
- 9/12～13 九州農大親善体育大会(宮崎)
- 9/25～10/24 2年生農家等派遣研修
- 10/19 第2回農大オープンキャンパス
- 11/16 飛雲祭